

綜合藥用植物

藥學士
大村重光編

山東省立醫學專科學校

馮寶麟

卅四
十
十
三

綜合藥用植物・奥附

定價金
特別行為稅

定價金十圓 五錢

日本出版會承認番號 180443號 (1,000部)

編著者 大村重光
おほむら しげみつ

發行者 廣川源治
ひろがわ げんぢ
 東京都本郷區春木町二ノ五六

印刷者 西川喜右衛門
にしがわ きゑゑもん
 東京都神田區小川町二ノ十二

印刷所 株式會社 秀英社
しゅゑい
 (東京4123)

製本所 水上製本工場
みづの
 東京都本郷區東片町三十四

昭和17年12月25日 改刻版印刷
 昭和18年1月10日 改刻版發行
 昭和18年8月15日 改刻二版發行



發行所 東京都本郷區春木町二丁目六番地
 振替東京82694 電話小石川5720
 日本出版會 會員番號127012

廣川書店

配給元 東京都神田區淡路町二ノ九 日本出版配給株式會社

ま へ が き

我々の日常生活に密接な関係を持つ薬用植物の薬學を修めたものに殊に交渉の多いのは當然であるが、この薬用植物に關する成書は、或は植物學的に過ぎ、或はあまりに卑俗である等手頃の書に乏しい憾がある。編者等が薬學専門學校に薬用植物を講義してこの點を痛感し、専門に偏せず又通俗に墮ちず闡明に個々の薬用植物に就いて概念を把握し得る様な書を構成を頭に畫いては居つたが直ちに之を具體化する意志もなかつた。偶々昨春恩師 朝比奈先生の御言葉に力を得て急に纏め上げたのが本書である。

即ち編者等の薬學専門學校に於ける教案教材を整理増補し、之を一の配列系下に於て薬用植物の各項を一目瞭然了解し易き様に表示し、之加薬用植物に關する主要項目を特に應用方面に留意して蒐輯編纂した。従つて本書が單に薬學専門學校にの教材としてのみでなく、廣く薬剤師、醫師、其ほか凡ての薬用植物に關心を持たるる諸彦に多少とも資するところあらば、編者の喜び之に過ぐるものはない。

本書を上梓するに際し顧みて編者の意あつて力足らざるを惟ふのみで、誤謬不備、改善すべき點の多々あるべきは論を俟たぬ。偏に先輩、讀者各位の御高教、叱正を得て漸次完成を期すべく切に御願ひする。

恩師 朝比奈、藤田兩先生より賜りたる御懇篤なる御指導に厚く御禮申上げる。又本田正次博士、清水藤太郎氏、岸田松若氏及び先輩、友人諸兄より種々と御教示、御意見を戴いた。猶ほ本書の構成は沖太七郎氏に負ふところが多い。茲に銘記して感謝の意を表する。

昭和十一年六月

編 者 誌 す

、 改 版 に 際 し て

本書改訂に着手中、たまたま共編者橋本亮君の急逝に會ひ一頓挫を來した。爾來餘暇を以て獨力之が稿を進め漸く完成した。改訂を機として本書の構成を本編〔舊版：Ⅰ藥用植物總覽〕、附編〔舊版：Ⅱ本邦藥用植物産額表 以下〕及び索引編の三編とし、且書型を縮少し讀者の便をはかつた。

本編に於て九十餘種の植物を新に追加し、各編・各項目全般に涉り補訂を行った。只文献は舊版（昭和十年）以後の分整理未了のため、今回は之を割愛したが整理の上再録の豫定である。又索引編に「植物成分」及び「用途・病名・症状」の二項を追加した。

本稿成つて間もなく大東亞戰爭勃發し、皇軍の赫々たる戰果により廣大なる地域我版圖に入り、該地方の藥用植物にて収録すべきもの出でたるも、當時既に組版中のため之が追加收載は次の機會に譲つた。

終りに謹んで本改訂書を 故橋本亮君の靈前にささげる。

昭和十七年一月

大 村 重 光

目 次

本 編

種子植物門	2
裸子植物亞門	2
被子植物亞門	8
a) 雙子葉植物綱	8
b) 單子葉植物綱	158
分裂植物門	186
褐藻植物門	188
紅藻植物門	190
真菌植物門	194
地 衣 類	200
羊齒植物門	203
參考引用書目	209

附 編

I 本邦生藥產額表	207
II 藥 品・製 劑	221
III 植物成分構造式	271
IV 漢 方 藥 方	309

索 引 編

1. 植 物 學 名	353
2. 植 物 和 名	375
3. 生藥名〔五十音〕	387
4. 生藥名〔劃 引〕	397
5. 植 物 成 分	405
6. 用 途・病 名・症 狀	423

附 編

I 本邦生薬額産表..... 209~219

昭和十一年度及び大正十五年〔昭和二、三年〕度の産額を並記し本邦に於ける薬用植物（生薬）生産の大約十年間の消長の一端を窺ふに資す。大正十五年、昭和二年及び三年の産額數量は買單位なるも凡て疋に換算せり。

II 薬品・製劑..... 221~270

生薬、有效成分或は其製劑にして、第五改正日本薬局方、第三改正日本準薬局方及び朝鮮漢薬局方収載品並に新薬類を収録す。

（局方）は日本薬局方、（準局）は日本準薬局方、（朝局）は朝鮮漢薬局方の略なり、又〔 〕内の數字は本編の原植物所在頁を示す。

III 植物成分構造式..... 271~307

著名植物成分にて其構造式の闡明せられたるものの分子式、恒數（沸點或は融點）並に構造式を收む。

III 漢方薬劑..... 309~351

第三改正日本準薬局方 屬編 VIII 漢方劑 に準據す。

索引編

植物學名 353~373

ゴチック字體は植物科名を示す。

植物和名 375~386

ゴチック字體は植物科名を示す。

生薬名〔五十音〕 387~396

生薬名〔劃引〕 397~403

植物成分 405~416

斜體數字は 附編 III 植物成分構造式 の 所在頁を示す。

用途・病名・症状 423~429

本 編

本編に於ては藥用植物の植物名、生藥名、用部、主成分及び產地等を二頁に亙り表示す。

困 匱 麗 團 團 ㊦ は各木本、灌木、藤本、草本、蔓草及び有毒植物を示す。生藥名（漢名も含む）の項に於て（ ）内は別名、〔 〕内は用部なり。

主成分の項にて 精油 鹽基 配糖 苦味 色素 脂肪 酵素 は各精油（揮發油）、植物鹽基、配糖體、苦味質、色素、脂肪（脂肪油）及び酵素を表し、（ ）内に其主要成分をあぐ。又主なる構造式は 附篇 III「植物成分構造式」に収録す。

用途の項に於て漢方或は民間藥を各 藥方、民間にて示す。内、外は内用、外用の意にて、煎、浸、散等は煎劑、浸劑或は散劑等として用ふるを示す。煎劑は細剉生藥を水 600 g にて 1~2 時間に約 1/3 量迄煎出し服用なすを標準とす。例之 藥方 止血〔衄血、咯血（煎：8）は、漢方醫藥にして衄血、咯血に止血藥として 8g を煎用するを示す。又醫藥用以外の用途も可及的之が収録に勉めたり。

產地 各地（長野、富山）とあるは、本邦各地に産し、長野、富山の兩縣其主要產地なるを示す。

生藥、有效成分或は其製劑にして第五改正日本藥局方、第三改正日本準藥局方及び朝鮮漢藥局方記載品並に主なる新藥新製劑を 附編 II「藥品・製劑」に一括し、備考欄 藥劑にて其所在頁を示す。

Spermatophyta

I. Gymnospermae

學名	和名	生薬名	用部
----	----	-----	----

Fam. Cycadaceae そてつ(蘇鐵)科

困 <i>Cycas revoluta Thunb.</i>	そてつ	蘇鐵 ツ テツ (無漏子) ム ロウ	果實
--------------------------------	-----	-----------------------------------	----

Fam. Ginkgoaceae いちやう(公孫樹)科

困 <i>Ginkgo biloba L.</i>	いちやう	銀杏(白果) ギンナン 白仁(種仁) ハクニン	種子
---------------------------	------	----------------------------------	----

Fam Pinaceae まつ(松杉)科

本科ヲ まつ科, すぎ科 Fam. Taxodiaceae 及 ひのき科 Fam. Cupres-

困 <i>Abies balsamea Miller</i>	—	カナダバルサム	樹脂
困 <i>Abies Fraseri Lindl.</i>	—		
困 <i>Callitris quadrivalvis Ventenat</i>	—	サンダラツク	樹脂
困 <i>Chamaecyparis obtusa Endl.</i>	ひのき	—	木部
困 <i>Chamaecyparis pisifera Endl.</i>	さはら	—	木部
困 <i>Cunninghamia Konishii Hayata</i>	らんだいすぎ	—	木部

種子植物門

裸子植物亞門

そてつ科・いぢやう科・まつ科

主 成 分	用 途	備 考
Formaldehyd, Aepfelsäure, Weinsäure, Cholin, Trigonellin, Adenin, Histidin	[薬方] 収斂, 通經 (煎: 10~20; 末: 4)	[産地] 臺灣, 琉球, 九州 多量ハ中毒ノ恐アリ
種子: 澱粉, 蛋白質, 脂肪 果皮: Ginkgolsre, Bilobol, Ginnol 葉: Ginnol, Shikiminsre, Flavon 類	鎮咳 (煎: 2~6) 果皮: 皮膚刺戟 (搗碎貼布) 葉: 防蟲	[産地] 支那, 各地
saceae = 細分ス.		
精油, 樹脂	プレバレート被包劑 ワニス原料	[産地] カナダ, 北米 合衆國
Sandarakolsäure, Kallitrolsäure	硬膏原料, 填齒科 ワニス原料	[産地] アフリカ西北 部
Cubebinolid [Hinokinin], Hinokiol 精油 (1-Cadinen, d- α -Pinen, Kamphen, Borneol, Kampher)	精油: 尿路消毒, 治淋	[産地] 各地 [薬劑] 221 頁 参照
精油 (d-Cadinen)	顯微鏡用 (ツエーデル油代用)	[産地] 各地
精油 (Gannol)	治淋 (白檀油代用)	[産地] 臺灣 [薬劑] 221 頁 参照

學 名	和 名	生 藥 名	用 部
困 <i>Cryptomeria japonica D. Don</i>	すぎ	杉脂 スギヤニ	樹脂
困 <i>Agathis Dammara Richard</i>	—	ダムマル脂 (ダムマルゴム)	樹脂
困 <i>Agathis lorantifolia Salisburg</i>	—		
困 <i>Dammara alba Rumphius</i>	—		
困 <i>Dammara orientalis Lamb.</i>	—		
困 <i>Juniperus communis L.</i>	—	杜松實 ジュンボウ	果實
困 <i>Juniperus conferta Parl.</i>	はひねづ } ねづ }	日本産杜松實	果實
困 <i>Juniperus rigida S. et Z.</i>			
困 <i>Juniperus Savina L.</i> (<i>Savina officinalis Garcke</i>)	—	サビナ	枝梢
困 <i>Juniperus virginiana L.</i>	えんぴつのみ	ツェーデル油	木部
困 <i>Pinus densiflora S. et Z.</i>	あかまつ }	テレピンチーナ	滲出液
困 <i>Pinus Thunbergii Parl.</i>	くろまつ }	松脂 マツヤニ	樹脂
困 <i>Pinus koraiensis S. et Z.</i>	てうせんまつ	海松子 ウイシヨウ	種子
困 <i>Thuja orientalis L.</i>	このてがしは	柏子仁 ヘクシニン 側柏葉 ソクハク	種仁 葉

Fam. Taxaceae いちみ(一位)科

困 <i>Taxus baccata L.</i>	—	—	葉, 種子
---------------------------	---	---	-------

主 成 分	用 途	備 考
Crypto-pimarsäure 材:精油 (1-Cadinen, d-Suginen, Crypto-meriol, Machilol)	樹脂: 被覆, 硬膏原料 精油: 治淋, 芳香料	産地 各地 薬劑 221 頁参照
樹脂, 樹脂酸, 苦味質, 精油	硬膏原料 ワニス原料	産地 フィリッピン, ポルネオ Shorea W. (44 頁)参照
精油 (Pinen, Cadinen) 糖類	利尿, 發汗 (浸, 茶: 10~15)	産地 ハンガリー, 伊 埃, 南佛 薬劑 221 頁参照
精油 (Pinen, Cadinen)	發汗, 利尿(水腫, 尿道疾患, 生殖器疾患)(内) 痛風, ロイマチス(外)	産地 茨城, 千葉海岸: 關西(ねづ)
精油 (Terpen, Savinol, Savinolacetat)	通經(内) 刺戟(外)	産地 歐洲, シベリヤ, 小アジア
精油 (Cedren, Cedrol, Cerdnel, Pseudcedrol)	顯微鏡油浸装置用	産地 北米 薬劑 221 頁参照
P. d.: 精油 (α -Pinen, Sesquiterpen) Densipimarsrehydrat, Densipimarsre P. T. 精油 (α -Pinen, Sesquiterpen) Japopinitolsre, Japopininsre	基礎劑, 溶解劑 精製テレピン油(利尿)及 コロホニウム(硬膏)原料	産地 各地 薬劑 221 頁参照
脂肪 (Olein), 蛋白質	薬方 榮養, 強壯	産地 朝鮮
脂肪油	薬方 滋養, 強壯 (煎, 末: 6) 民間 收斂, 止血 (煎: 10)	産地 支那原産, 各地
鹽基 (Taxin, Milossin) 配糖 (Taxicatin)	強心, 利尿, 鎮痛, 鎮咳 (歐洲)	産地 歐洲, 小アジア

學名	和名	生薬名	用部
☐ <i>Taxus cuspidata</i> S. et Z.	いちい (あらぎ)	一位葉 イチイ	葉
☐ <i>Torreya nucifera</i> S. et Z.	かや	榧實	種子

Fam. Ephedraceae まわう(麻黄)科

☐ <i>Ephedra sinica</i> Stapf	まわう }	麻黄	全草
☐ <i>Ephedra Shennungiana</i> Tang	—— }	マダマ	

主 成 分	用 途	備 考
<p>鹽基 (Taxin), Taxinin</p>	<p>民間 通經, 利尿 (煎)</p>	<p>產地 各地</p>
<p>脂肪油, 精油</p>	<p>驅蟲(十二指腸蟲) (煎: 10~30)</p>	<p>產地 各地 (中國地方) 藥劑 222 頁參照</p>
<p>鹽基 (Ephedrin, ψ-Ephedrin, Nor-ψ-Ephedrin, Methylephedrin, Nor-Ephedrin)</p>	<p>漢方 鎮咳(百日咳, 喘息, 結核), 發汗 (煎: 8~10)</p>	<p>產地 北支, 蒙古 藥劑 222 頁參照 根及節ヲ除キ用フ. 根及節ハ止汗作用アリ.</p>

II. Angiospermae

(A) Dicotyledones

學 名	和 名	生 藥 名	用 部
-----	-----	-------	-----

Fam. Fagaceae ぶな(殼斗)科

☒ <i>Castanea pubinervis</i> <i>Schneid.</i>	くり	栗葉 リッ	葉
☒ <i>Castanea vesca</i> <i>Gärtn.</i>	—	—	葉
☒ <i>Quercus infectoria</i> <i>Oliver.</i>	—	沒食子 モツシヨク	贅生物
☒ <i>Quercus robur</i> <i>L.</i> (<i>Quercus pedunculata</i> <i>Ehrh.</i>)	—	—	樹皮
☒ <i>Quercus suber</i> <i>L.</i>	こるくがし	枹 コルク) ホツ	樹皮
☒ <i>Quercus variabilis</i> <i>Blume</i>	あべまき		

Fam. Juglandaceae くるみ(胡桃)科

☒ <i>Juglans regia</i> <i>L.</i> var. <i>sinensis</i> <i>D.C.</i>	てうちぐるみ (てうせん ぐるみ)	胡桃仁 コトツニン	種仁
☒ <i>Juglans Sieboldiana</i> <i>Maxim.</i>	おにぐるみ (くるみ)		

Fam. Betulaceae かばのき(樺木)科

☒ <i>Betula verrucosa</i> <i>Ehrh.</i> (<i>Betula alba</i> <i>L.</i>)	—	—	葉
--	---	---	---

被子植物亞門

雙子葉植物綱

ぶな科・くるみ科・かばのき科

主 成 分	用 途	備 考
Tannin	民間 漆カブレ, 收斂(外, 煎) 樹皮: 染料, 鞣皮	産地 各地
Tannin, 配糖體	鎮咳〔百日咳〕 (流動エキス: 2~8)	産地 南歐, 前アジア
Gallusgerbsäure	收斂 タンニン酸〔收斂〕原料	産地 小アジア
Tannin, Gallussre, Ellagsre, Quercit, Eichenphlobaphen, Pentosan, Laevulin	收斂, 止瀉 (4~6) 種子: 興奮性飲料	産地 歐洲
Suberin (Phellonsäure, Phloionsäure, Suberinsäure)	コルク製品原料	産地 スペイン, アルゼ リア(こるくかし); 島根(あべまき)
脂肪 (Lipolsre-glycerid) α -, β -Hydrojuglon	薬用 栄養, 強壯, 鎮咳(内) 胡桃油: 皮膚病〔疥癬, 凍傷〕, 腋臭(外) 假果皮: 染髮	産地 支那原産, 各地 (長野, 新潟) 薬用 222 頁参照
糖油 (Betulol)	利尿 (5~8)	産地 歐洲 薬用 223 頁参照